

iUと日経ビジネスが共催 スタンフォード式「生成AI活用リーダー育成講座」 2025年12月9, 10, 11日に開講

iU(情報経営イノベーション専門職大学、東京都墨田区、学長:中村 伊知哉、<https://www.i-u.ac.jp>)は、株式会社 日経BP(東京都港区、社長 CEO 井口 哲也、<https://www.nikkeibp.co.jp/>)が発行する経済メディア「日経ビジネス」と米スタンフォード大学 d.school 客員教授でありイノベーション&AI スペシャリストのジェレミー・アトリー氏を招聘し、2025 年 12 月 9 日～11 日に「スタンフォード式生成 AI 活用リーダー育成講座(スタンフォード式生成 AI Bootcamp)」を、日本会場にてオンライン講義を開催します。

本講座は、生成 AI と自動化ツールを活用して全社・部門レベルの業務改革を推進できる人材を育成することを目的とし、マネジメント層から現場のリーダーまで幅広い層を対象とします。

初日の特別企画として、日本共創プラットフォーム代表取締役会長 富山和彦氏による特別講演を実施いたします。受講者全員に富山氏の著書『ホワイトカラー消滅 私たちは働き方をどう変えるべきか』をプレゼントいたします。

■お問い合わせページ

<https://nbpm.jp/nb-ai>

■お申し込みフォーム(近日公開予定):

<https://www.nikkeibp.co.jp/seminar/nb/bootcamp/>

■背景：生成 AI の進化と業務改革の重要性

生成AIは、文章・画像生成にとどまらず、意思決定支援や業務プロセスの最適化など、企業経営のあらゆる領域に影響を与え始めています。しかし、多くの企業ではAI活用が限定的な業務効率化にとどまり、経営戦略や収益機会創出まで結びついていないのが現状です。

本講座では、スタンフォード大学での研究と世界中の起業支援経験を持つアトリー氏が、生成AIの特性と限界を理解したうえで、組織全体の変革を牽引するための戦略と実行力を身に付けたいリーダーを直接指導します。本講座の日本語のサポートは、iUの江端浩人教授が行います。

■講座の特徴

- **米スタンフォード大学客員教授ジェレミー・アトリー氏の知見を凝縮**
世界的企業での導入事例を基に、生成 AI 活用の実践ノウハウを提供。
- **現場と経営層が同じ目線で学べるプログラム**
事前オンライン学習 + 3 日間の集中講座 + 成果発表デイにより、戦略と実行の好循環を構築。

• ROI 重視の実践的アプローチ

高い投資対効果 500～1,000%を目標とした AI 活用プランの策定・実証方法を習得。

■ 講座概要

名称: スタンフォード式生成 AI 活用リーダー育成講座

日程:

- 事前学習: 2025 年 11 月 24 日(月・祝)～12 月 8 日(月)(10 分程度の課題を毎日メールで送付)
- 本講座: 2025 年 12 月 9 日(火)～12 月 11 日(木)9:00～13:00(本講座)、13:00～15:00 昼食＋日本語の補習
- 成果発表・フィードバックデイ: 12 月 19 日(金)9:00～13:00
- 会場: ステーションコンファレンス万世橋(東京・秋葉原)＋オンライン
 - 東京都千代田区神田須田町 1 丁目 25JR 神田万世橋ビル 3 階・4 階
- 受講料: 45 万円(税込)※複数申込割引あり、ご相談ください。
- 定員: 60 名(最少催行人数 30 名)
- 主催: 日経ビジネス
- 共催: iU

■ 講師紹介



ジェレミー・アトリー氏(スタンフォード大学 d.school 客員教授)

イノベーション・創造性・起業家精神の分野で世界的に高い評価を受ける専門家。著書『Ideaflow』は Thinkers50「トップ・イノベーション著作」に選出。アトリー氏は、スタンフォード大学で「最も人気のある教授」にも選ばれ、「AI とクリエイティビティの融合によって組織変革を導くエキスパート」として注目されている。

<https://www.jeremyutley.design/> <https://online.stanford.edu/instructors/jeremy-utley>



江端浩人氏(iU 教授、江端 浩人事務所代表、株式会社 Almondo 事業顧問)

スタンフォード MBA(経営学修士)取得、伊藤忠商事、日本コカ・コーラ、日本マイクロソフト、DeNAなどで要職を歴任。DX 人材育成の第一人者として多くの知見を保有。2025 年 7 月 22 日には自身の授業内でフジテレビジョン清水賢治社長と実業家堀江貴文氏の対談を実現。著書に「マーケティング視点の DX」(日経 BP)など。

■ 推薦人 富山和彦氏のコメント



富山和彦氏(日本共創プラットフォーム(JPiX)代表取締役会長、IGPI グループ会長、スタンフォード大学 MBA)

「日本企業の経営者にとって、ホワイトカラー消滅に備えるために残された時間は限られている。ジェレミー・アトリー氏は、スタンフォード大学での研究と豊富な企業支援経験を基に、経営層が AI を具体的に生かす方法を示してくれる。本イベントが多くのリーダーに新たな成長機会をもたらすことを期待する」

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆう）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

起業率全国1位（iU独自調査）、起業数は全国8位（経済産業省調べ）の、在学中に学生が起業に挑戦する大学。ICT・ビジネス・グローバルな視点について学び、新しい時代を創る人材を育成。さらに必修科目として約4か月間の臨地実務実習も経験し、将来の起業や就職を見据えたキャリアビジョンの具現化につなげている。

iUホームページ：<https://www.i-u.ac.jp/>

■学長

中村伊知哉（なかむらいちや）



京都大学研究員、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、Web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。

プロジェクト授業、4ヶ月の臨地実務実習、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。起業数45以上、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。結果、2期生の就職率99.1%。

連携企業700社以上、客員教員1,000人以上。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等100以上のプロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う正課「eスポーツ」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■所在地

・墨田キャンパス：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：墨田キャンパス
右：サテライトオフィス

・学生数：655名 ・基幹教員数：30名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■学びの特色

「ICT」「ビジネス」「グローバル」この3つが学びの柱

①アプリ設計・開発、データサイエンスなどの技術を修得する【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける
プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

②組織管理やマーケティング、会計・財務などを学ぶ【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習
さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

③国際感覚や語学力を自分のものにする【グローバル】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

現場で学び、起業で挑む。600時間の実習×全員起業プログラム

- ・臨地実務実習とプロジェクト実践演習：1人600時間の臨地実務実習、実在するサービスの事業展開やリアルな社会課題の解決などに取り組むプロジェクト実践演習を実施
- ・全員起業：全員が在学中に起業に挑戦。必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じてリアルなビジネスの立ち上げを経験し、社会で即戦力となる力を育成。希望者には事業化支援・資金提供・登記サポートも完備。

■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp